

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
チャレンジ・キッズ西脇 第2教室		2025 年 7 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		療育に必要なスペースを確保し集中して取り組める環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	81.60%	18.20%	人員配置基準を遵守し、必要に応じて人員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		視覚プロンプト、その他支援を用いて利用者に応じた支援を整えている。段差をなくしバリアフリー化をはかっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	100%		机等の消毒・常時換気を行っている。学習、運動スペース、フリースペースなどこども達の活動にあわせてスペースを区切り、必要な照度も確保している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90.90%	9.10%	個別の部屋や目的に応じて自由に過ごせるフリースペースを用意。安全面も確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	72.70%	27.30%	常勤職員が主導し、定期的に業務改善会議を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90.90%	9.10%	本シートを活用しつつ、定期的な面談にて意向を伺い業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90.90%	9.10%	定期的にミーティングを行い、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63.60%	36.40%	第三者による外部評価は実施していない。本シートを活用しつつ自主的な業務改善を目指している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		事業所内研修を定期的に行っている 外部の研修も積極的に行っている。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		適切に行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	100%		定期的なモニタリング、アセスメント、職員間の情報共有を行い、計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		個別支援計画案を作成後は担当者会議を実施、最善の利益を考慮した検討を行っている。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90.90%	9.10%		どのようなツールを用いてアセスメントを行っているかを周知する。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90.90%	9.10%	特定の職員の意見に偏った計画にならないように周囲の職員とコミュニケーションを計りながら計画を立てている。	プログラム立案について、内容や方法を周知する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90.90%	9.10%	パソコン内で情報共有できるツールを用いて、情報の共有を行っている。	定期的な打ち合わせ以外にミーティングの回数を増やし、役割の再確認を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	81.80%	18.20%	送迎や退勤時間の差で終了後の打ち合わせや引継ぎはできていないことが多い。	実際に対面以外のツールを用いて効果的に情報共有ができるようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	<u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%			
	25	<u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	63.60%	36.40%	療育に悩むタイミングで助言を受けられるとありがたい。	地域との連携を図り、スーパーバイザーとのパイプ作りをする。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	45.50%	54.50%		機会がないため、今後の課題として計画的に運営していく。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	90.90%	9.10%		保護者会等、定期的な開催ができていない為、年間計画にのっとり開催できるよう整備する。
	32	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	<u>【児発センターのみ】</u> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	63.60%	36.40%	児発からの情報をもらう機会が少ない為ありません	放デイ側からも積極的に発信し、情報収集、情報共有に努める。
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	54.50%	45.50%	今まであまり機会がなかった。	放デイから先の支援への引継ぎの機会がないため、今後積極的に行えるようにしていく。また、どのような引継ぎをしていくのか等、保護者との情報共有に努める。
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%			
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	81.80%	18.20%	定期的な開催できていない。	保護者会の計画はできているが定期的な開催につながない為、計画的に行っていく。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	27.30%	72.70%	個人情報取り扱いの兼ね合いから図っていない。	今後の課題として取り組んでいく。
非常時等の	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	81.80%	18.20%	食物を事業所から提供することがない。	アレルギーの情報収集は行っているが、食事提供がなくても職員全員が意識を持てるように周知する。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			

対 応	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90.90%	9.10%	勤務時間帯の巻毛で参加できない職員に対しては伝達講習により対応している。	毎年開催しているが、参加できない職員もいるため、機会を増やす。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	72.70%	27.30%	保護者には契約の際に説明を行っている。	身体拘束について公表しているため、公表の内容を周知する。